

## 小児・思春期問題委員会報告

## (わが国における思春期妊娠第3回調査報告)

委員長 玉 田 太 朗

思春期妊娠問題小委員長 佐 藤 恒 治

同 委員 片 桐 清 一 森 下 一

日本産科婦人科学会小児・思春期問題委員会は teenagers の妊娠・分娩の増加に鑑み青少年の性意識や性行動の実態をより正確に把握しようと20歳未満で妊娠した女子の社会医学的な検討を昭和53年6月に第1回を、その後5年経過した昭和58年11月に第2回を行って性経験の若年化が進んでいることを確認した。今回は恐らく性行動の低年齢化がさらに進行するであろうとの予想のもとに第1回調査より10年を経過した今日の青少年の性の知識・性行動の体験・性についての規範意識などを知るために第3回調査を行った。同時に社会的要因や教育的経験との関連、産科学的問題点などをも明らかにしようと試みた。

## 調査対象ならびに調査方法

調査対象：第1、2回の調査が20歳未満すなわち19歳までに妊娠状態を終了したものを対象としたので、これらとの比較のために前2回と同様な調査対象を用いた。

調査方法：日本母性保護医協会の全面的な協力のもとに各都道府県の日母支部長からそれぞれ5名の、ならびに本委員会委員の協力の得られた県からはさらに5名の調査協力医療機関の推薦をいただき図1のような調査票を配布した。この調査票は第2回のものにわずかの修正を加えたものである。これと並行して今回も十代の分娩調査票をも配布して十代分娩の実態について調査した。調査期間は昭和63年9月1日より平成元年8月31日までの1年間である。集計された調査項目はコンピューターによつて処理された。

## 調査成績

集計された妊娠の調査票は2,014枚であつたが20歳が15例、年齢未記入等の記載不備などのため使用できなかった26例を除き実際に統計処理された数は1,988例である。うち既婚者は467例(24.0%)である。

## 1. 年齢分布

本調査の対象となつた十代妊娠の年齢別例数は表1のようで、この年齢分布は第1、2回とほぼ同様なパ

表1 年齢分布

| 年齢 | 12  | 13  | 14  | 15  | 16  | 17   | 18   | 19   | 計     |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-------|
| 例数 | 1   | 3   | 5   | 37  | 173 | 320  | 578  | 871  | 1,988 |
| %  | 0.1 | 0.2 | 0.3 | 1.9 | 8.7 | 16.1 | 29.1 | 43.8 | 100.0 |

ターンを示し、18歳と19歳で73%を占め、16歳以下は11.2%と前2回の9.7;9.6%に比してわずかに多い。

## 2. 身体的発育

年齢別の身長は第1、2回に比して155~159cmが37.5%ともつとも多い率であることには変化ないが160~164cmが27.5%と第2位に、150~154cmが22.5%と第3位になり、2位と3位が入れ変つている。体重も50~54kgが27.7%、45~49kgが26.6%と前回と逆転している。

## 3. 初経年齢分布と月経周期

初経年齢は8歳から19歳まで分布し、12歳代が37.7%、13歳代が24.1%、11歳代が18.3%、14歳代が10.4%で、11歳から13歳がほぼ80.1%を占めている。これまでの報告に較べて特別な変化は認められない。月経周期の正順者は78.4%である。

## 4. 教育的背景と本人の職業

年齢別教育程度は表2に示した通りで、記載に前回同様多少の誤りはあるが、内容はほぼ前回と同様である。本人の職業は表3のようでこれも前回と一致している。

## 5. 居住地区

都市部が74.1%と第1、2回同様圧倒的に多くしかも人口20万以上が37.6%と前回の42.8%と同様である。

## 6. 家庭環境

「同居している家族」についての質問に61.9%の回答があり、そのうち父母と一緒にのものが45.7%、母のみ10%、父のみ2.4%、父母・祖父母5.2%、父母・祖母6.4%である。同居している兄弟姉妹は1名が28.6%、

A あなた自身のことについてお聞きします。

あなたの年齢、身長、体重を記入してください。……年齢  歳、身長  cm、体重  kg

該当する答の番号を右の□の中に記入してください。

問1. 学歴：1.小学生、2.中学生、3.中学校卒、4.高校卒、5.高校卒、6.大学(短大)生……………□

問2. 居住地区：1.都市部(市)、2.郡部(町・村)……………□

問3. 居住地区(市・町・村)の人口は：1.20万人以上、2.5~20万人未満、3.5万人未満……………□

問4. 職業：1.無職、2.生徒・学生、3.事務員(会社員)、4.農業、5.工員、6.店員、7.その他( )……………□

問5. 同居家族：1.同居している、2.同居していない……………□  
 同居している兄弟姉妹は何人ですか。あなた自身はのぞいてください。いなければ"0"、(ゼロ)と記入してください。……………□人

問6. 親との続柄：1.長女、2.次女、3.3女、4.4女、5.5女、6.6女、7.7女、8.養女、9.その他( )……………□

B 相手の人についてお聞きします。

相手の人の年齢、身長、体重を記入してください。わからなければ記入しないでください。

年齢  歳、身長  cm、体重  kg

該当する答の番号を右の□の中に記入してください。

問1. 学歴：1.中学生、2.中学校卒、3.高校卒、4.高校卒、5.大学(短大)生、6.大学(短大)卒、7.不明……………□

問2. 居住地区：1.都市部(市)、2.郡部(町・村)、3.不明……………□

問3. 居住地区(市・町・村)の人口は：1.20万人以上、2.5万~20万人未満、3.5万人未満、4.不明……………□

問4. 職業：1.無職、2.生徒・学生、3.事務員(会社員)、4.農業、5.工員、6.店員、7.教師、8.家庭教師……………□  
 9.その他( )、0.不明

問5. 相手の人との関係：1.夫、2.婚約者、3.知人、4.友達、5.職場の人、6.師弟、7.親族(父・兄・弟、義父・義兄弟・おじなど)、8.強姦、9.その他( )、0.不明……………□

問6. 相手の人との交際を親が認めていますか：1.認めている、2.認めていない……………□

問7. (結婚している人だけ) 結婚した年月日は……………昭和  年  月  日 (入籍・同居)

C 月経についてお聞きします。

該当する答の番号又は、数字を右の□の中に記入してください。

問1. 初めての月経は何歳・何ヶ月の時ですか。……………□歳  月  日

問2. ふだん月経は定期的にありますか。：1.はい、2.いいえ……………□

問3. ふだんの月経の周期は何日ですか：1.~24日、2.25~27日、3.28~30日、4.31~33日、5.34~36日、……………□  
 6.37~39日、7.40日~

問4. ふだんの月経の出血期間は何日間ですか：1.1日、2.2日、3.3日、4.4日、5.5日、6.6日、7.7日……………□  
 8.8日以上

問5. 最後の月経はいつから始めて、何日間でしたか。……………昭和  年  月  日~  日

D 性交についてお聞きします。

該当する答の番号又は、数字を右の□の中に記入してください。

問1. 初めての性交は、何歳の時でしたか。……………□歳

問2. 初めての性交した場所はどこでしたか：1.自宅、2.相手の家、3.アパート、4.ホテル、5.野外、……………□  
 6.車の中、7.その他( )

問3. (1)初めて性交した季節はいつでしたか。(2)又それは何月でしたか。……………□季節 □月

1.春、2.夏、3.秋、4.冬……………(1)季節 □(2)月

問4. 交際から初めて性交した時までの期間はどのくらいですか。……………□  
 1.1週間以内、2.1ヵ月以内、3.2~3ヵ月、4.4~6ヵ月、5.7~12ヵ月、6.1年以上

問5. 妊娠までの性交回数は何回でしたか。……………□  
 1.1回、2.2~5回、3.6~9回、4.10回以上

問6. 同様したことがありますか：1.はい、2.いいえ……………□

問7. 性感(オルガスム)はありましたか：1.はい、2.いいえ、3.わからない……………□

問8. 性交に対する態度はどうでしたか：1.自分で希望した、2.好奇心から、3.無理やりに、4.何とはなしに……………□  
 5.お酒を飲んでいた、6.わからない

問9. 婚前性交はいつまでどう思っていますか。……………□  
 1.愛していても相手の同意があればよい、2.愛していればよい、3.結婚が前提ならかわらない、4.どんな場合でもよくない、5.わからない

問10. 今まで何人の男性との間に性交経験がありますか。……………□  
 1.現在の人だけ、2.2~5人、3.6~9人、4.10人以上

E 避妊についてお聞きします。

該当する答の番号を右の□の中に記入してください。

問1. 避妊をしましたか。：1.した、2.したことはある、3.しない……………□

問2. "避妊をした。"避妊をしたことがある。と答えた人に、避妊の方法は：……………□  
 1.コンドーム、2.中絶性交、3.オギノ式、4.ピル、5.その他( )

問3. 初潮に関する教育以外に、性教育をうけましたか。……………□  
 1.うけた、2.うけない

問4. "性教育をうけた。"と答えた人に、どこで性教育をうけましたか。……………□  
 1.家庭、2.学校、3.その他( )

問5. "性教育をうけない。"と答えた人に、性教育をうけなかったですか。……………□  
 1.うけなかった、2.どうでもよい、3.必要ない

F 妊娠についてお聞きします。

該当する答の番号又は数字を右の□の中に記入してください。

問1. 月経が遅れたときの気持はどうでしたか。……………□  
 1.妊娠したと思った、2.そのうちあると思っていた、3.気にしなかった

問2. 妊娠だといわれた時どうでしたか。……………□  
 1.ショックだった、2.何とも思わなかった、3.うれしかった

問3. 親(父・母)は妊娠を知っていますか。……………□  
 1.自分から知らせた、2.知らせていないが知っている、3.知らない

問4. 赤ちゃんに対する気持はどうですか。……………□  
 1.何とも思わなかった、2.かわいそう、3.悪いことをした、4.憎い、5.かわい

問5. 妊娠について最初に相談した人はだれですか。……………□  
 1.だれにも相談していない、2.相手の人、3.友達、4.姉妹、5.男兄弟、6.学校の先生、7.教師、8.父親、9.母親、0.その他( )

問6. 前にも妊娠したことがありますか。……………□  
 1.ある、2.ない

問7. (前にも妊娠したことがある人だけ) 今まで(今回の妊娠をのぞいて)……………□回  
 何回妊娠したことがありますか。

H 医師・助産婦・看護婦記入欄

該当する項目の番号又は、数字を□の中に記入してください。

問1. 初診時妊娠月(週)数：妊娠  月(満  週)

問2. 妊娠中毒症の症状：1.なし、2.浮腫、3.蛋白尿、4.高血圧……………□

問3. 種々の感染：1.なし、2.梅毒、3.淋病、4.トリコモナス、5.その他……………□

問4. 妊娠の結末：……………□  
 (1)自然流産：1.なし、2.あり……………(1) 妊娠  月(満  週)  
 (2)人工妊娠中絶：1.なし、2.あり…………… 妊娠  月(満  週)  
 (3)経産分娩：満  週 昭和  年  月  日生  
 (4)帝王切開：満  週 昭和  年  月  日生

分娩したものについては十代分娩調査票に御記入下さい。

図1 思春期妊娠調査票

表2 教育程度

| 学歴\年齢   | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|---------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 小学生     | 1  | 0  | 0  | 0  | 1   | 0   | 0   | 1   | 3     | 0.2   |
| 中学生     | 0  | 3  | 4  | 10 | 6   | 8   | 4   | 7   | 42    | 2.1   |
| 中学卒     | 0  | 0  | 1  | 15 | 92  | 175 | 250 | 211 | 744   | 37.4  |
| 高校生     | 0  | 0  | 0  | 11 | 72  | 123 | 102 | 58  | 366   | 18.4  |
| 高校卒     | 0  | 0  | 0  | 1  | 1   | 7   | 186 | 511 | 706   | 35.5  |
| 大学(短大)生 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 2   | 24  | 74  | 100   | 5.0   |
| 回答なし    | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 5   | 12  | 9   | 27    | 1.4   |
| 計       | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

2名は16.7%であり、62.8%が長女、26.5%は次女である。これらの結果もほぼ前回と同様である。

7. 相手の関係

相手の教育程度は中学卒が32.5%、高校卒が44.6%、中学生が0.7%、高校生は8.1%と在學生は比較的少なく、これも前回とほぼ同様である(表4)。相手の関係も表5のように前2回の調査と同様に友達が多めで多く、ついで夫、婚約者の順である。夫と回答した人のうち15歳が1人(0.2%)、16歳が20人(4.3%)、17歳が53人(11.4%)である。

表3 本人の職業

| 職業\年齢    | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|----------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 無職       | 0  | 0  | 0  | 4  | 63  | 118 | 204 | 320 | 709   | 35.7  |
| 生徒・学生    | 1  | 3  | 4  | 24 | 66  | 109 | 125 | 108 | 440   | 22.1  |
| 事務員(会社員) | 0  | 0  | 0  | 1  | 5   | 15  | 81  | 206 | 308   | 15.5  |
| 農業       | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 1   | 1   | 3     | 0.2   |
| 工員       | 0  | 0  | 0  | 2  | 4   | 9   | 9   | 12  | 36    | 1.8   |
| 店員       | 0  | 0  | 0  | 2  | 17  | 35  | 81  | 113 | 248   | 12.5  |
| その他      | 0  | 0  | 0  | 1  | 14  | 28  | 63  | 92  | 198   | 10.0  |
| 回答なし     | 0  | 0  | 1  | 3  | 4   | 5   | 14  | 19  | 46    | 2.3   |
| 計        | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表4 相手の教育程度

| 学歴\年齢   | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|---------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 中学生     | 0  | 1  | 1  | 2  | 2   | 2   | 2   | 4   | 14    | 0.7   |
| 中学卒     | 0  | 1  | 3  | 17 | 75  | 140 | 201 | 209 | 646   | 32.5  |
| 高校生     | 1  | 0  | 0  | 8  | 45  | 46  | 39  | 22  | 161   | 8.1   |
| 高校卒     | 0  | 0  | 0  | 5  | 37  | 100 | 267 | 477 | 886   | 44.6  |
| 大学(短大)生 | 0  | 0  | 0  | 0  | 2   | 8   | 28  | 63  | 101   | 5.1   |
| 大学(短大)卒 | 0  | 0  | 1  | 0  | 0   | 2   | 13  | 51  | 67    | 3.4   |
| 不明      | 0  | 1  | 0  | 2  | 4   | 9   | 12  | 17  | 45    | 2.3   |
| 回答なし    | 0  | 0  | 0  | 3  | 8   | 13  | 16  | 28  | 68    | 3.4   |
| 計       | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表5 相手の関係

| 関係\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 夫     | 0  | 0  | 0  | 1  | 20  | 53  | 133 | 258 | 465   | 23.4  |
| 婚約者   | 0  | 0  | 0  | 6  | 24  | 60  | 125 | 180 | 395   | 19.9  |
| 知人    | 0  | 1  | 2  | 4  | 17  | 30  | 38  | 49  | 141   | 7.1   |
| 友達    | 0  | 2  | 3  | 15 | 87  | 123 | 178 | 243 | 651   | 32.7  |
| 職場の人  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2   | 10  | 11  | 31  | 54    | 2.7   |
| 師弟    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 2   | 1   | 4     | 0.2   |
| 親族    | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 0   | 0   | 0   | 1     | 0.1   |
| 強姦    | 1  | 0  | 0  | 1  | 1   | 0   | 1   | 1   | 5     | 0.3   |
| その他   | 0  | 0  | 0  | 4  | 5   | 21  | 48  | 62  | 140   | 7.0   |
| 不明    | 0  | 0  | 0  | 0  | 2   | 1   | 3   | 4   | 10    | 0.5   |
| 回答なし  | 0  | 0  | 0  | 6  | 14  | 21  | 39  | 42  | 122   | 6.1   |
| 計     | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

## 8. 初交年齢・場所

1,988名が初めて性交を経験した年齢は表6のよう  
で前回同様に16歳がもつとも多く、ついで17歳である  
が前回に比してわずかではあるが16歳より若年の方に  
数値がふえ16歳以上は減少している。16歳までに  
52.4%、17歳までに79.5%が性交を経験している。第  
1回から第2回のような一年早まるというような現象  
はみられないが依然としてわずかずつ進んでいる。

初交の場所は前回同様、相手の家が54.9%ともつとも  
多く、ついでホテル、自宅の順である(表7)。

## 9. 初交の季節

初交の行われた時期を季節的にみると、夏、冬、春、

表6 初交年齢

| 初交年齢\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|---------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 10      | 0  | 0  | 0  | 1  | 0   | 0   | 0   | 0   | 1     | 0.1   |
| 11      | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     | 0.0   |
| 12      | 1  | 1  | 1  | 0  | 2   | 0   | 3   | 2   | 10    | 0.5   |
| 13      | 0  | 2  | 2  | 3  | 11  | 11  | 10  | 11  | 50    | 2.5   |
| 14      | 0  | 0  | 2  | 12 | 32  | 43  | 36  | 36  | 161   | 8.1   |
| 15      | 0  | 0  | 0  | 21 | 72  | 86  | 98  | 98  | 375   | 18.9  |
| 16      | 0  | 0  | 0  | 0  | 54  | 120 | 173 | 196 | 543   | 27.3  |
| 17      | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 54  | 179 | 206 | 439   | 22.1  |
| 18      | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 66  | 222 | 289   | 14.5  |
| 19      | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 79  | 79    | 4.0   |
| 回答なし    | 0  | 0  | 0  | 0  | 2   | 5   | 13  | 21  | 41    | 2.1   |
| 計       | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表7 初交の場所

| 場所\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 自宅    | 1  | 0  | 0  | 2  | 22  | 39  | 57  | 82  | 203   | 10.2  |
| 相手の家  | 0  | 3  | 1  | 21 | 93  | 179 | 326 | 468 | 1,091 | 54.9  |
| アパート  | 0  | 0  | 1  | 0  | 8   | 23  | 42  | 43  | 117   | 5.9   |
| ホテル   | 0  | 0  | 2  | 6  | 27  | 54  | 109 | 201 | 399   | 20.1  |
| 野外    | 0  | 0  | 1  | 0  | 1   | 4   | 10  | 4   | 20    | 1.0   |
| 車の中   | 0  | 0  | 0  | 6  | 8   | 7   | 15  | 33  | 69    | 3.5   |
| その他   | 0  | 0  | 0  | 0  | 6   | 6   | 3   | 12  | 27    | 1.4   |
| 回答なし  | 0  | 0  | 0  | 2  | 8   | 8   | 16  | 28  | 62    | 3.1   |
| 計     | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

秋の順で前回と多少異なるが、これを月別にみると8  
月が16.2%、7月9.5%、4月8.2%、10月8.1%、12月  
7.8%、5月7.2%とほぼ前回同様であり、7・8月の夏  
休み、4月の春休み、10月の秋休み、12月の冬休みの  
頃が多い(表8)。

## 10. 交際を始めてから初交に至るまでの期間

交際を始めてから性交を行うまでの期間は表9に示  
した通りであるが、交際開始後2~3カ月が25.8%と  
もつとも多く、1カ月以内が23.5%とそれにつき交際  
を始めてから3カ月以内に62.1%の人が性交にまで至  
っている。6カ月以内になると77.6%が肉体関係をも  
つていることになる。これを5年前の調査結果と比較  
すると全般的な傾向はほぼ同様であるが交際を始めて  
から初交までの期間は数%前傾化している。第1回調  
査との比較でも全般的な傾向は同様であるが、やや前  
傾化している。

## 11. 妊娠に至るまでの性交回数

交際を始めてから妊娠するまでの性交回数は表10の  
ようである。妊娠するまでの性交回数でもつとも多か  
つたのは10回以上で66.4%と前回より増加している。  
5回以内の性交で妊娠したものは16.1%と前回より  
5.2%、10回以内で26.8%と前回より6.1%減少し、1

表8 初交の季節

| 季節\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 春     | 0  | 0  | 1  | 11 | 28  | 72  | 127 | 207 | 446   | 22.4  |
| 夏     | 1  | 0  | 1  | 11 | 62  | 103 | 195 | 274 | 647   | 32.5  |
| 秋     | 0  | 2  | 1  | 8  | 32  | 63  | 89  | 148 | 343   | 17.3  |
| 冬     | 0  | 1  | 2  | 7  | 45  | 70  | 144 | 210 | 479   | 24.1  |
| 回答なし  | 0  | 0  | 0  | 0  | 6   | 12  | 23  | 32  | 73    | 3.7   |
| 計     | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表9 交際してから初交に至るまでの期間

| 期間\年齢  | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|--------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 1週間以内  | 1  | 0  | 4  | 11 | 29  | 49  | 74  | 87  | 255   | 12.8  |
| 1ヵ月以内  | 0  | 3  | 1  | 6  | 38  | 84  | 151 | 185 | 468   | 23.5  |
| 2～3ヵ月  | 0  | 0  | 0  | 9  | 43  | 87  | 127 | 247 | 513   | 25.8  |
| 4～6ヵ月  | 0  | 0  | 0  | 3  | 31  | 38  | 112 | 125 | 309   | 15.5  |
| 7～12ヵ月 | 0  | 0  | 0  | 3  | 11  | 23  | 39  | 74  | 150   | 7.5   |
| 1年以上   | 0  | 0  | 0  | 3  | 17  | 25  | 58  | 118 | 221   | 11.1  |
| 回答なし   | 0  | 0  | 0  | 2  | 4   | 14  | 17  | 35  | 72    | 3.6   |
| 計      | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

回だけの性交では2.1%と前回の1/2に減少している。全体的に前回に比して妊娠するまでの性交回数は増加している。

#### 12. 同棲の有無

同棲の有無は表11のようで70%は同棲の経験はなく、これは前回の調査と全く同様である。

#### 13. 性感の有無

性交に際してオルガスムを感じたか否かについても第2回と全く同様な傾向を示し、なんらかの快感を経験したものは25%にすぎない。60%の人はわからないと回答している。これらは第1回の47.4%がオルガスムを経験したという結果とは異なっている(表12)。

#### 14. 性交を行った動機と婚前性交に対する意識

性交を行った動機ならびに婚前性交に対する態度については表13, 14に示した通りである。どうして性交を行ったか「わからない」、「何とはなしに」、「求められるまま」に応じたものが59.9%で、第2回の62.9%、第1回の58.2%と、10年間ほぼ同じような結果を得ている。婚前性交に対する意識としても全体の傾向としては前回と同様であるが数値的には「結婚が前提」が15.6%から8.4%に半減して、「愛していればよい」とするものが増加している。10年前の調査は質問の内容が多少異なるが「愛があればよい」88.4%、「すべてよくない」9.4%であったが、前回、今回の「どんな場合でもよくない」は前回は1.8%、今回は2.2%と第1回調査に較べて婚前性交を不可と考えている若者は数%にすぎない。それに反して「愛はなくとも同意があればよい」とするものは前回、今回とも10%前後にみられる。

表10 妊娠に至るまでの性交回数

| 回数\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 1回    | 1  | 0  | 1  | 4  | 3   | 8   | 8   | 16  | 41    | 2.1   |
| 2～5回  | 0  | 1  | 2  | 7  | 38  | 41  | 66  | 123 | 278   | 14.0  |
| 6～9回  | 0  | 1  | 0  | 7  | 22  | 34  | 69  | 79  | 212   | 10.7  |
| 10回以上 | 0  | 1  | 2  | 15 | 98  | 217 | 394 | 594 | 1,321 | 66.4  |
| 回答なし  | 0  | 0  | 0  | 4  | 12  | 20  | 41  | 59  | 136   | 6.8   |
| 計     | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表11 同棲の有無

| 同棲\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| あり    | 0  | 0  | 0  | 5  | 46  | 102 | 178 | 242 | 573   | 28.8  |
| なし    | 1  | 3  | 5  | 31 | 126 | 214 | 389 | 620 | 1,389 | 69.9  |
| 回答なし  | 0  | 0  | 0  | 1  | 1   | 4   | 11  | 9   | 26    | 1.3   |
| 計     | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表12 性感の有無

| 性感\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| あり    | 0  | 0  | 0  | 9  | 29  | 84  | 149 | 230 | 501   | 25.2  |
| なし    | 0  | 0  | 0  | 6  | 20  | 28  | 66  | 106 | 226   | 11.4  |
| わからない | 1  | 3  | 4  | 20 | 118 | 198 | 340 | 512 | 1,196 | 60.2  |
| 回答なし  | 0  | 0  | 1  | 2  | 6   | 10  | 23  | 23  | 65    | 3.3   |
| 計     | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表13 性交を行った動機

| 動機\年齢    | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|----------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 自分で希望    | 0  | 0  | 0  | 1  | 8   | 22  | 42  | 65  | 138   | 6.9   |
| 好奇心      | 0  | 0  | 2  | 7  | 28  | 67  | 107 | 161 | 372   | 18.7  |
| 無理やり     | 1  | 0  | 1  | 4  | 17  | 31  | 42  | 68  | 164   | 8.2   |
| 何とはなしに   | 0  | 2  | 0  | 11 | 74  | 122 | 225 | 349 | 783   | 39.4  |
| お酒を飲んでいて | 0  | 0  | 0  | 2  | 2   | 10  | 18  | 26  | 58    | 2.9   |
| わからない    | 0  | 1  | 2  | 11 | 37  | 56  | 127 | 173 | 407   | 20.5  |
| 回答なし     | 0  | 0  | 0  | 1  | 7   | 12  | 17  | 29  | 66    | 3.3   |
| 計        | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

ばよい」とするものは前回、今回とも10%前後にみられる。

#### 15. 性交経験について

妊娠を疑い訪医し妊娠と判定された女子の性交経験について年齢的に分析すると表15のようであるが、現在付き合っている人だけ、すなわちこれまでに肉体交渉をもつた男性が1人だけのものは41.4%、相手が2～5人の人は42.5%と前回と全く同様な結果を得た。そして16歳から相手の男性が複数であるのが半数以上を占め全体としては58.6%が2人以上の男性と性交渉をもっている。欧米で十代の性行動の特徴とされている相手が複数という現象はわが国でも一般的にみられ

表14 婚前性交に対する態度

| 態度\年齢            | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|------------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 愛してなくても同意がなければいい | 0  | 0  | 3  | 2  | 17  | 30  | 53  | 80  | 185   | 9.3   |
| 愛していれば           | 0  | 0  | 1  | 16 | 91  | 204 | 371 | 554 | 1,237 | 62.2  |
| 結婚が前提            | 0  | 0  | 0  | 3  | 12  | 19  | 40  | 93  | 167   | 8.4   |
| どんな場合でもよくない      | 1  | 0  | 0  | 4  | 5   | 5   | 14  | 15  | 44    | 2.2   |
| わからない            | 0  | 3  | 1  | 11 | 42  | 53  | 84  | 104 | 298   | 15.0  |
| 回答なし             | 0  | 0  | 0  | 1  | 6   | 9   | 16  | 25  | 57    | 2.9   |
| 計                | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表15 性交経験

| 性交経験\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|---------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 現在の人だけ  | 1  | 2  | 3  | 22 | 80  | 134 | 229 | 353 | 824   | 41.4  |
| 2~5人    | 0  | 0  | 0  | 8  | 65  | 125 | 250 | 396 | 844   | 42.5  |
| 6~9人    | 0  | 1  | 0  | 3  | 14  | 25  | 49  | 53  | 145   | 7.3   |
| 10人以上   | 0  | 0  | 2  | 1  | 10  | 24  | 32  | 42  | 111   | 5.6   |
| 回答なし    | 0  | 0  | 0  | 3  | 4   | 12  | 18  | 27  | 64    | 3.2   |
| 計       | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

るようになった。

#### 16. 避妊について

性交の際、避妊を行ったか否かについての調査は表16に示したが、避妊をこれまでに一度でも行ったことがある人は81%で前回は77.9%、第1回が63%と次第に実行率は上昇しつつある。妊娠を望まないのであれば性交のたびに100%行わなければならないわけで、今回の「いつも行っていた」16.6%、第2回の「今回の性交では行つた」24.8%、第1回の「実行した」18.4%と極めて低率である。しかも数少ない避妊を行った人達も失敗妊娠したわけである。

#### 17. 避妊の方法

「避妊をいつもしていた」、「時々していた」と答えた1,611例にその方法を調査したものが表17で避妊経験者の75.4%がコンドームを使用して避妊を行っている。中絶性交、オギノ式等その他の方法は5.3%とわずかである。それらのうちでもピルは0.4%にすぎない。この結果は第1、2回と同様である。

#### 18. 性教育の有無

なんらかの性教育を受けたことがあるか否かについて調べた結果は表18のようで、教育を受けたことがあるものは61.0%、受けたことがないのは37.1%であり、第2回の結果とほとんど変化はない。

#### 19. 性教育を受けた場所

性教育を受けた場所は学校が90.7%と前回同様であり、家庭で受けたものは6.8%にすぎない。前回もわず

表16 避妊について

| 年齢<br>避妊の有無 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|-------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| いつも行っていた    | 0  | 1  | 1  | 3  | 26  | 41  | 106 | 152 | 330   | 16.6  |
| 時々行っていた     | 0  | 1  | 2  | 17 | 110 | 212 | 356 | 583 | 1,281 | 64.4  |
| 行つたことがない    | 1  | 1  | 2  | 15 | 33  | 64  | 106 | 123 | 345   | 17.4  |
| 回答なし        | 0  | 0  | 0  | 2  | 4   | 3   | 10  | 13  | 32    | 1.6   |
| 計           | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表17 避妊の方法

| 方法\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| コンドーム | 0  | 2  | 3  | 20 | 126 | 244 | 429 | 674 | 1,498 | 75.4  |
| 中絶性交  | 0  | 0  | 0  | 0  | 4   | 4   | 15  | 23  | 46    | 2.3   |
| オギノ式  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 4   | 11  | 19  | 35    | 1.8   |
| ピル    | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 0   | 3   | 4   | 8     | 0.4   |
| その他   | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 2   | 5   | 8   | 16    | 0.8   |
| 回答なし  | 1  | 1  | 2  | 17 | 40  | 66  | 115 | 143 | 385   | 19.4  |
| 計     | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

か4.9%であつた(表19)。

#### 20. 性教育に対する関心

性教育を受けてなかつた737名(37.1%)について性教育をどのように考えるかを尋ねたところ表20のような結果を得た。すなわち半数の48.6%は性教育はどうでもよいと考えており、前回、前々回の32.5%、37.2%に比して著明に増加しており、望まない妊娠をしてみても性教育を受けておけばあるいは受けたいと思つているものが32.8%と、この結果も前回、前々回のそれぞれ53.8%、46.9%と異なり著しく低下している。必要ないと答えたものは12.6%でこの数値は前2回とほぼ同様である。

#### 21. 月経が停止したときの気持

月経発来が遅れたときにどう思つたかは表21のようであるが、一般的に考える「妊娠したのではないか」と思つたものが53.2%で前2回ともほぼ同じであるが、「そのうちあると思つた」ものも40.4%とここ10年間変化ない。「気にしなかつた」の5.3%と合わせて45~46%の人は性交しても妊娠するとは思つていないようである。

#### 22. 妊娠と言われたときの気持

医師に「妊娠」と言われたときどう思つたかについては表22に示したようで、51.9%のものは「ショック」だと感じたが「妊娠」と言われても「何とも思わなかつた」ものが9.5%、「うれしかつた」と思つたものは14歳1名(20.0%)、15歳4名(10.8%)、16歳37名(21.4%)、17歳101名(31.6%)、18歳207名(35.8%)、

表18 性教育を受けたか否か

| 教育\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 受けた   | 0  | 1  | 3  | 20 | 103 | 184 | 355 | 546 | 1,212 | 61.0  |
| 受けない  | 1  | 2  | 2  | 16 | 65  | 130 | 211 | 310 | 737   | 37.1  |
| 回答なし  | 0  | 0  | 0  | 1  | 5   | 6   | 12  | 15  | 39    | 2.0   |
| 計     | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表19 性教育を受けた場所

| 場所\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 家庭    | 0  | 0  | 1  | 1  | 10  | 13  | 22  | 35  | 82    | 6.8   |
| 学校    | 0  | 1  | 2  | 17 | 88  | 166 | 327 | 498 | 1,099 | 90.7  |
| その他   | 0  | 0  | 0  | 1  | 0   | 0   | 4   | 7   | 12    | 1.0   |
| 回答なし  | 0  | 0  | 0  | 1  | 5   | 5   | 2   | 6   | 19    | 1.6   |
| 計     | 0  | 1  | 3  | 20 | 103 | 184 | 355 | 546 | 1,212 | 100.0 |

表20 性教育に対する関心

| 関心\年齢  | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17  | 18  | 19  | 計   | %     |
|--------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 受けたかった | 1  | 0  | 1  | 4  | 19 | 40  | 76  | 101 | 242 | 32.8  |
| どうでもよい | 0  | 1  | 1  | 10 | 32 | 66  | 100 | 148 | 358 | 48.6  |
| 必要ない   | 0  | 0  | 0  | 1  | 10 | 18  | 25  | 39  | 93  | 12.6  |
| 回答なし   | 0  | 1  | 0  | 1  | 4  | 6   | 10  | 22  | 44  | 6.0   |
| 計      | 1  | 2  | 2  | 16 | 65 | 130 | 211 | 310 | 737 | 100.0 |

19歳369名(42.4%)で全体として36.2%であった。前2回と比較してみると「ショック」と感じたものが第1回以来次第に減少し(60.4%→58.6%→51.9%),「うれしかった」と感じたものが第1回以来次第にふえている(27.0%→31.1%→36.2%)。

### 23. 両親は娘の妊娠を知っているか

親が娘の妊娠を知っているか否かについては表23に示したようであるが、妊娠したことを親に「知らせた」ものは54.7%、親が娘の妊娠を「知らない」が33.7%であるが前回、前々回に比して「知らせた」ものがほぼ10%増加し「知らない」ものも約10%減少している。

### 24. 胎児に対する気持

胎児に対する気持は表24のようであるが「かわいそう」が23.4%と前回34.7%、前々回36.2%から減少しており、一方「かわいい」が第1回の24.4%、第2回の29.3%から32.7%と上昇している。「何とも思わない」も前回の1.5%から4.4%とふえている。

### 25. 妊娠について相談した相手

「妊娠している」と言われた時に最初に相談した人は誰か尋ねたところ前回(67.9%)同様に相手の人がもつとも多く、ついで友達が15.4%であった。前回と前々回でこの質問に対する回答には大きな違いがあったが今回の回答は前回とほぼ同様な結果を示した(表25)。

表21 月経が停止したときの気持

| 気持\年齢      | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 妊娠と思つた     | 0  | 0  | 2  | 12 | 82  | 153 | 328 | 481 | 1,058 | 53.2  |
| そのうちあると思つた | 0  | 2  | 3  | 21 | 73  | 137 | 222 | 346 | 804   | 40.4  |
| 気にしなかつた    | 1  | 1  | 0  | 3  | 16  | 27  | 21  | 37  | 106   | 5.3   |
| 回答なし       | 0  | 0  | 0  | 1  | 2   | 3   | 7   | 7   | 20    | 1.0   |
| 計          | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表22 妊娠と言われたときの気持

| 気持\年齢     | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|-----------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| ショック      | 1  | 2  | 2  | 26 | 113 | 179 | 299 | 409 | 1,031 | 51.9  |
| 何とも思わなかつた | 0  | 1  | 2  | 6  | 18  | 33  | 56  | 72  | 188   | 9.5   |
| うれしかった    | 0  | 0  | 1  | 4  | 37  | 101 | 207 | 369 | 719   | 36.2  |
| 回答なし      | 0  | 0  | 0  | 1  | 5   | 7   | 16  | 21  | 50    | 2.5   |
| 計         | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表23 両親は知っているか

| 告知\年齢        | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|--------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 知らせた         | 1  | 1  | 1  | 22 | 97  | 175 | 312 | 478 | 1,087 | 54.7  |
| 知らせてないが知っている | 0  | 2  | 4  | 8  | 29  | 36  | 52  | 71  | 202   | 10.2  |
| 知らない         | 0  | 0  | 0  | 7  | 43  | 104 | 204 | 311 | 669   | 33.7  |
| 回答なし         | 0  | 0  | 0  | 0  | 4   | 5   | 10  | 11  | 30    | 1.5   |
| 計            | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

### 26. 過去の妊娠

今回の調査を受ける前にも妊娠したことがあるか否かについて質問したところ「ある」は21.1%、「ない」は74.5%、回答なしは4.4%で前回、前々回とほとんど同様な結果を得た。年齢別にみると16歳が12.7%、17歳が15.6%、18歳が21.3%、19歳が25.5%と過去にそれぞれ妊娠歴をもっている(表26)。

### 27. 過去の妊娠回数

今回妊娠する前に何回妊娠しているかを調べたところほとんどの人(75.5%)が1回のみであるが、2回のもものが16.9%で、14歳が1人、16歳が2人、17歳が11人、3回のもものは3.1%で17歳が1人、18歳が1人、4回妊娠したものが3人みられた。これらの結果は前回と同様である(表27)。

### 28. 初診時の妊娠週数

初診時の妊娠週数については7週までが33.6%、8週から11週までが29.6%で11週までに63.2%の人が受診している。12週から21週までが18.7%、22週と23週が2.3%、24週以上は6.6%になっている。12週から23週に受診したものは20.7%、これを年齢別にみると19

表24 胎児に対する気持

| 気持\年齢   | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|---------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 何とも思わない | 1  | 0  | 1  | 2  | 7   | 20  | 27  | 29  | 87    | 4.4   |
| かわいそう   | 0  | 0  | 2  | 15 | 48  | 72  | 149 | 179 | 465   | 23.4  |
| 悪いことをした | 0  | 3  | 2  | 14 | 69  | 113 | 187 | 286 | 674   | 33.9  |
| 憎い      | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 2   | 0   | 1   | 3     | 0.2   |
| かわいい    | 0  | 0  | 0  | 2  | 38  | 97  | 192 | 322 | 651   | 32.7  |
| 回答なし    | 0  | 0  | 0  | 4  | 11  | 16  | 23  | 54  | 108   | 5.4   |
| 計       | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表25 妊娠について最初に相談した相手

| 相手\年齢      | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 誰にも相談していない | 0  | 0  | 0  | 0  | 3   | 7   | 15  | 9   | 34    | 1.7   |
| 相手の人       | 0  | 1  | 3  | 13 | 107 | 199 | 379 | 590 | 1,292 | 65.0  |
| 友達         | 0  | 1  | 0  | 10 | 29  | 54  | 89  | 123 | 306   | 15.4  |
| 姉妹         | 0  | 0  | 0  | 1  | 5   | 10  | 20  | 18  | 54    | 2.7   |
| 兄弟         | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 1   | 1   | 3     | 0.2   |
| 学校の先生      | 0  | 0  | 0  | 4  | 1   | 1   | 2   | 0   | 8     | 0.4   |
| 医師         | 0  | 1  | 0  | 0  | 0   | 4   | 1   | 7   | 13    | 0.7   |
| 父親         | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 1   | 1     | 0.1   |
| 母親         | 1  | 0  | 2  | 8  | 14  | 23  | 35  | 54  | 137   | 6.9   |
| その他        | 0  | 0  | 0  | 0  | 7   | 5   | 8   | 15  | 35    | 1.8   |
| 回答なし       | 0  | 0  | 0  | 1  | 7   | 16  | 28  | 53  | 105   | 5.3   |
| 計          | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

歳は19.6%，18歳は20.4%，17歳は21.6%，16歳は24.9%，15歳は27.0%と年齢が若年化するほど受診週数が遅れ中期妊娠に入ってからのもが多くなる。この傾向は第1，2回の調査とも変りない(表28)。

### 29. 妊娠の経過と結果

妊娠の結果は表29に示した通りである。1,988例中経膈分娩を行ったものは435例(21.9%)，帝王切開が24例(1.2%)で分娩総数は459例(23.0%)，自然流産41例(2.1%)，そして過半数の1,076例(54.1%)が人工妊娠中絶を受けている。不明が140例(7.0%)，回答なしが272例(13.7%)で不明と回答なしを合すると412例(20.8%)である。前回は不明は19.6%であり今回とほぼ同様である。私どもの経験から不明例や回答なしの多くは妊娠の診断を受けると人工妊娠中絶のために他医に転向するようである。したがって分娩例，自然流産例を除いたほとんどは人工妊娠中絶を受けると考えてよい。

### 考 案

昭和53年6月から1年間を費やして行われた「わが国における思春期妊娠」の実態調査(委員長・松本清一；妊娠問題小委員長・石浜淳美)はその後5年を経過した昭和58年11月から1年間を労して第2回調査

表26 過去の妊娠

| 妊娠\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|-------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| ある    | 0  | 0  | 2  | 1  | 22  | 50  | 123 | 222 | 420   | 21.1  |
| ない    | 1  | 3  | 3  | 34 | 145 | 258 | 431 | 606 | 1,481 | 74.5  |
| 回答なし  | 0  | 0  | 0  | 2  | 6   | 12  | 24  | 43  | 87    | 4.4   |
| 計     | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表27 過去の妊娠回数

| 回数\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18  | 19  | 計   | %     |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-------|
| 1     | 0  | 0  | 0  | 0  | 19 | 35 | 98  | 165 | 317 | 75.5  |
| 2     | 0  | 0  | 1  | 0  | 2  | 11 | 18  | 39  | 71  | 16.9  |
| 3     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 1   | 11  | 13  | 3.1   |
| 4     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 2   | 3   | 0.7   |
| 回答なし  | 0  | 0  | 1  | 1  | 1  | 3  | 5   | 5   | 16  | 3.8   |
| 計     | 0  | 0  | 2  | 1  | 22 | 50 | 123 | 222 | 420 | 100.0 |

(委員長・中山徹也；妊娠問題小委員長・佐藤恒治)が行われ，さらに5年を経過した昭和63年9月より第3回調査が行われた。第1回は日産婦誌32巻10号，第2回は日産婦誌37巻9号に委員会報告として詳細に報告されているのでそれらを参照していただくとして今回は第1回を始めてから第2，3回と3回の調査を行ってきた10年の間にteenagersの人々の性に対する考え方の変化を多くは望まない妊娠をした人々から社会医学的な考察を試みた。

現在また10年前においても十代妊娠は正確にはどの位の数があり，どの位の数的人工妊娠中絶が行われているのか不明である。そこでまず一応の目安となる厚生省より毎年報告されている優生保護統計をみると1984年までは20歳未満の人工妊娠中絶は絶対数も全年齢に対する率も直線的に増加していることである。1985年以後はごくわずかの減少か横ばい状態を示している。一方，全年齢の人工妊娠中絶数は昭和30年以後は実数も実施率も着実に減少しつつある。すなわち全体の人工妊娠中絶数は減少の一途をたどっているのに，十代的人工妊娠中絶数だけがうなぎ登りに上昇してきており，それがここ数年足踏み状態になっている。また母の年齢別出生数ならびに率をみると表30の通りで実数としては1970年以後は減少しているが1985年から再び増加し以後横ばい状態が続いている。しかし率としては1960年以後ほとんど変化がない。つまり十代妊娠のほとんどの結末は人工妊娠中絶に終るわけである。したがって優生保護統計に報告される実数・率は正確な数のパラメーターとしてみる事ができる。

表28 初診時の妊娠週数

| 妊娠週数\年齢 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|---------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 0~3     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 2   | 2   | 5     | 0.3   |
| 4~7     | 0  | 2  | 2  | 7  | 44  | 84  | 180 | 289 | 608   | 30.6  |
| 8~11    | 0  | 0  | 1  | 7  | 47  | 77  | 152 | 219 | 503   | 25.3  |
| 12~15   | 0  | 0  | 1  | 4  | 16  | 32  | 53  | 90  | 196   | 9.9   |
| 16~19   | 1  | 0  | 0  | 4  | 7   | 17  | 29  | 35  | 93    | 4.7   |
| 20~23   | 0  | 0  | 0  | 2  | 16  | 10  | 25  | 31  | 84    | 4.2   |
| 24~27   | 0  | 0  | 0  | 2  | 3   | 9   | 6   | 12  | 32    | 1.6   |
| 28~31   | 0  | 0  | 0  | 1  | 4   | 9   | 5   | 20  | 39    | 2.0   |
| 32~35   | 0  | 0  | 0  | 1  | 3   | 6   | 3   | 7   | 20    | 1.0   |
| 36~39   | 0  | 0  | 1  | 0  | 1   | 3   | 6   | 3   | 14    | 0.7   |
| 40~43   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 2   | 0   | 3     | 0.2   |
| 回答なし    | 0  | 1  | 0  | 9  | 32  | 71  | 115 | 163 | 391   | 19.7  |
| 計       | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表29 妊娠の結果

| 結果\年齢  | 12 | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18  | 19  | 計     | %     |
|--------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 自然流産   | 0  | 0  | 1  | 0  | 2   | 3   | 13  | 22  | 41    | 2.1   |
| 人工妊娠中絶 | 1  | 3  | 2  | 24 | 116 | 177 | 314 | 439 | 1,076 | 54.1  |
| 経腔分娩   | 0  | 0  | 1  | 2  | 22  | 70  | 126 | 214 | 435   | 21.9  |
| 帝王切開   | 0  | 0  | 0  | 1  | 0   | 7   | 2   | 14  | 24    | 1.2   |
| 不明     | 0  | 0  | 1  | 2  | 12  | 18  | 43  | 64  | 140   | 7.0   |
| 回答なし   | 0  | 0  | 0  | 8  | 21  | 45  | 80  | 118 | 272   | 13.7  |
| 計      | 1  | 3  | 5  | 37 | 173 | 320 | 578 | 871 | 1,988 | 100.0 |

表30 20歳未満の母の出生数および率

| 年次         | 出生数    | 率    |
|------------|--------|------|
| 1950年 昭和25 | 56,365 | 13.3 |
| 1955       | 25,219 | 5.9  |
| 1960       | 19,739 | 4.3  |
| 1965       | 17,719 | 3.3  |
| 1970       | 20,177 | 4.5  |
| 1975       | 15,999 | 4.1  |
| 1980       | 14,590 | 3.6  |
| 1985       | 17,877 | 4.1  |
| 1986       | 17,707 | 3.8  |
| 1987       | 17,558 | 3.7  |

3回の調査を行って3回ともほとんど同じ回答結果を得たものは①年齢分布, ②初経年齢分布と月経周期, ③教育的背景と本人の職業, ④居住地区, ⑤家庭環境, ⑥相手の関係(教育程度, 居住地区, 職業, 相手の関係), ⑦初交の季節, ⑧同棲の有無, ⑨オルガスムの有無, ⑩性交を行つた動機と婚前性交に対する態度, ⑪性交経験, ⑫避妊の方法, ⑬性教育の有無, ⑭性教育を受けた場所, ⑮月経が停止したときどう思ったか, ⑯過去の妊娠, ⑰妊娠の回数, ⑱初診時の妊娠週数, ⑲妊娠の経過と結果, 以上の19項目の質問については10年間ほぼ同様な回答結果を得ている。したがって今

後も当分の間は変化はないものと思われる。これらのことはわが国の若者にとつてごく一般的な現象になっていると思われる。すなわち十代妊娠のほぼ80%は未婚者であり, その年齢分布は18~19歳がほぼ75%, 17歳が15%, 16歳以下はほぼ10%の割合である。初経年齢は12~13歳代に, 月経周期は正順が75~80%, 不順が20~25%, 教育的背景は現代社会では90%以上が高校に進学するのが普通であるが, 中学卒が30%以上を占めていること, 大学生は5%前後である。本人の職業も変化ない。居住地区は都市部が圧倒的に多く, しかも20万以上の大都市が多い。家庭環境としてかつては未婚妊娠は親のいない家庭の子に多いとされていた。3回の調査から片親か両親のいない家庭のものは約1割にみられるが半数以上は父母と一緒に暮らしている。両親は健在であるが都会に出て一人で生活しているものが30%以上である。相手の年齢は15~20歳が半数以上を占め25歳までが90%を占めるが, 18~22歳がもつとも多い。相手の学歴は高校卒がもつとも多く, ついで中学卒で大学生や大学卒は少ない。相手の関係は友達がもつとも多く, それについて婚約者である。初めて性交を経験した季節は夏がもつとも多くことに8月が際立っている。ついで, 春と冬がほぼ同率で秋となっている。夏は休みが多く開放感にあふれ性行動に入りやすい季節であるのは一般も同様である。この年代では同棲しているものは少なく30%弱にすぎない。しかし見方によつてはteenagersであるから30%は多いと考えるべきかもしれない。性交に際して快感を感じたものは25~30%で半数以上はわからないと答えている。何も感じない人はほぼ10%である。

性交を行つた動機と婚前性交に対する態度は3回ともほぼ同様であるが, 性交を行つた動機のうちもつとも多い理由である「何とはなしに」が第1回から毎回10%ずつ減少し, その代りとして「わからない」が増加している。ともかく, 性交の動機として60%の人は「何とはなしに」, 「わからない」と極めて安易な気持ちである。恐らく性交の結果など考えないでその場かぎりの自然の成りゆきで行つたものが多い。婚前性交に対する態度は「愛していればよし」とするものが60%, 「愛はなくても同意があれば」10%前後, 「結婚が前提」8~16%と80%前後の人は婚前性交を是としており, 「どんな場合でもよくない」は2%前後にすぎない。現代女性の考え方の一端を知ることができる。性交経験について現在の人とだけはほぼ40%で60%弱の人は2人以上の複数の相手と性交経験をもっている。これは



欧米各国の十代の性行動の特徴として挙げられている現象で、わが国の十代でもごく一般的な現象になっている。避妊を実行した人達の方法の80%前後がコンドーム法でこれは日本人一般の方法と同じである。性教育を受けた人は毎回の調査ごとに数%ずつ増加して全体として60%に達しているが、受けた場所は学校が90%前後と3回とも変化がない。

月経が停止したときの気持は3回とも全く同じ回答率で「妊娠と思った」が55%前後、「そのうちあると思った」が40%である。過去の妊娠経験は24~25%の人にある。16歳で7~8%, 17歳で15~20%, 18歳で23~30%, 19歳で40%前後とこの数値は第1回から第2回調査の時に上昇し、第2回と第3回では変化はみられない。妊娠回数は1回だけが75%前後、2回が17%前後、3回が3~4%と第2、3回とも変化がない。

これら十代の女子達が妊娠のために産婦人科医を訪問し妊娠と診断されたときの妊娠週数は11週までが60%前後であるが12~23週のもの19%前後、24週以上が5%以上もある。十代で未婚で妊娠すると親に相談もできず、医者にも行けず一日一日と伸ばすため十代妊娠には中期中絶が多い。これまで3回の調査結果で十代妊娠の結末は55%以上が人工妊娠中絶、経腔分娩が20%弱、帝王切開は1%前後、自然流産は2%前後であるが不明や回答なしが多いのが常である。これらは恐らく他の医療機関にて人工妊娠中絶を受けているものと思われるから人工妊娠中絶は70~80%位になるはずである。以上は10年間3回の調査を通してほぼ同じ傾向の回答のあつたものである。

次に述べるものは過去10年間に3回行った調査で変化のあつたものである。

まず身長、体重が今回の調査では前2回に比してわずかではあるが増加している。次に初めて性交を経験した年齢と場所について、第1回調査時のもつとも多い年齢は17~18歳であつたものが第2回時には16~17歳と1歳早くなつていたが、第3回時はピークは16~17歳にあるが15歳までに第2回は24.2%が第3回は30.1%が経験しているように徐々にだが早傾化している。場所は第1回の車の中や野外が減少し第2回では相手の家、自宅、ホテル、アパート等家の中になり、ことにホテルが15.6%と新しく出現したが第3回ではこれが20.1%とさらに上昇した。交際を始めてから初交までの期間は第1回と第2回の比較で6カ月までの率は変化ないが1カ月以内が34.2%、3カ月以内が58.4%と早傾化していたが今回は1カ月以内が

36.3%、3カ月以内は62.1%とやや早まっている。妊娠に至るまでの性交回数は5回以内で妊娠したものが第1回は4.7%、第2回は21.3%が今回は16.1%、1回だけの性交で妊娠したものが第2回の3.9%から2.1%、10回以内で妊娠したものが29.3%→32.9%→26.8%と減少し妊娠までの性交回数が増加している。避妊の実行率は一度でも行つたことがあるものを含めると53%から77.9%、今回は81.0%と毎回増加している。しかし「今回の妊娠」について行つたものは18.4%→24.8%→16.6%と極めて低率である。性教育を受けた者は54.9%→59.1%→61.0%と回数を重ねるごとに増加している。妊娠と言われたときの気持は「ショック」と感じたものが第1回の60.4%より毎回減少し58.6%→51.9%になつており、逆に「うれしかった」と思つたものが27.0%→31.1%→36.2%と増加している。その理由はどうしてか分からない。両親は娘の妊娠を知っているかについて第1回と第2回ではほとんど変化がないが、今回の調査で知らせたものが約10%増加し親が知らないものは10%近く減少している。親の関心が高まつたためであろうか。胎児に対する気持は第1回と第2回ではほとんど変化がないが、今回は「かわいそう」と思つたものがほぼ10%減少し、「かわいい」がわずかであるが増加している。妊娠と分かつて相談した相手は第1回は友達が63.9%ともつとも多く、第2回は相手の人67.9%、友達が18.5%と著しい相違を示したが、今回は相手の人が65.0%、友達が15.4%と第2回とほぼ同じような結果を得た。

以上過去10年間に行つた3回の十代妊娠の社会医学的の調査で3回とも全く変化のない現象や考え方と徐々にではあるが10年の間に進行している現象とにはつきりと分けられることが分かつた。しかも進行しているものは第1回と第2回では著しく進展がみられたものが多かつたが、第2回と第3回ではほとんど変化がないか進行はあつてもごくわずかであることも分かつた。この現象は日本性教育協会が調査した青少年の性行動の調査結果ともよく一致しており、極めて興味あることである。すなわち青少年の性行動の第3回の調査分析によると「前々回(1974年)と前回(1981年)の調査の比較では①性の生理的側面については成熟の低年齢化の進行が停止したとみられるけれども、②その他の側面については経験率が高まり進行速度が速まつてきていることが基本的に明らかになされた。ところが今回(1987年)はかなり多くの事項で経験率がむしろ低下している」という。これは経験率が実際に低下

したためではなく性的な情報の普及氾濫によつて判断の基準が変わつたり、以前はショッキングな性的経験と記憶されていたことがそれほどの意味をもたなくなつたと解釈でき、ともかく経験率は上昇していないと判断することができる。もちろん質問の内容や対象者が全く違う集団ではあるが若い人々の性に関する規範意識、性的知識、性についてのイメージなどの傾向を知る貴重な資料であり、今回の私どもの調査を整理して同じような印象をもつことができ、これまで急速に経験率が高まり低年齢化が進行すると予想されていた青少年の性的な経験にある意味での落ち着きが生じている面があるようである。

#### む す び

日本産科婦人科学会小児・思春期問題委員会では日産婦、日母会員の協力をえて全国から20歳未満の妊婦を集め思春期妊婦の実態を社会医学的な見地から分析するため第3回目の調査を行つた。昭和53年の第1回、昭和58年の第2回の調査と合せて過去10年間にわたつて行つて来た本調査からわが国の青少年の性の知識・性行動の体験・性についての規範意識などを知ることができた。

なお、次の方々（敬称略・順不同）から御協力をいただいたことを記して、深甚な謝意を表す。

（北海道）小六義久、林 義夫、吉井正仁、高岡邦夫、（青森県）片桐清一、（岩手県）齊藤 博、工藤直彦、利部輝雄、（宮城県）長池博子、中川公夫、五十嵐章、吉田 威、東岩井久、赤間二郎、永井 宏、青葉久夫、鬼怒川博久、星合 昊、（秋田県）真木正博、五十嵐信寛、大倉俊弥、加藤悌三、（山形県）松尾正城、国井勝昭、安孫子純夫、三井盾夫、島貫洋利、青木一石、大沼靖彦、広井正彦、（福島県）秋山精治、星 敬一、渡辺 宏、（茨城県）山縣健三、五十嵐栄治、塚原俊明、小松崎正、鈴木重治、久保田奈美代、諸原英雄、目崎 登、（栃木県）石塚孝夫、南里栄子、平尾 潔、浅岡 健、

小倉望弘、（群馬県）伊藤昭夫、小平良貞、小沢陸男、桜井洋、久保 洋、（埼玉県）岡村 泰、村上行信、佐藤辰元、金子宜淳、鈴木伸一郎、（千葉県）松信 堯、貴家昭而、熊切 芳、（東京都）星野広利、柳田昌彦、兼子和彦、岡田紀三男、（神奈川県）根岸達郎、岩田嘉行、佐藤啓治、住吉好雄、浜田 宏、長谷川進、安達健二、関口允夫、渡部輝哉、杉本 孝、佐藤恒治、多和田金雄、齊藤 真、（山梨県）浅川龍一、佐々木紀充、田辺陽一、渡辺泰猛、（長野県）丸山庸雄、三浦秀輔、呉屋順一、椎名剛雄、（静岡県）神尾寛治、山田耕司、（新潟県）神田敬子、石黒隆雄、広神俊彦、（富山県）館野政也、大澤 汎、栗野利春、家城匡純、津田達雄、（石川県）中村 彰、宮下 敏、鈴木雅夫、桑原正樹、（福井県）山田 良、友影竜郎、宮越洋二、（岐阜県）樋口満彦、岩砂真一、渡辺 津、（三重県）西山克男、南 仁人、森川正作、山口博司、（滋賀県）青地秀樹、姫野憲雄、（京都府）森 治彦、身原正一、富田 慈、（大阪府）福井雅夫、竹村秀雄、（兵庫県）名方正夫、山下澄夫、中村益啓、西川義規、（奈良県）齊藤守重、岡田仙三、（和歌山県）神前正造、成川守彦、榎本恒雄、（鳥取県）梅沢潤一、上原崇義、富永好之、鎌沢 泉、（島根県）高橋俊一、中山俊彦、（岡山県）赤堀和一郎、本郷基弘、近藤和二、小川重男、（広島県）正岡吉則、小川一三、難波幸一、河野美代子、（山口県）森永虎彦、阿部芳野、津永甲次、富山忠彦、（徳島県）吉田順一、河野 恒、児玉一郎、高橋久寿、（香川県）久保信夫、明比 暁、谷 弘光、東條泰隆、（愛媛県）森 巍、重川嗣郎、松原理一郎、福井敬三、（高知県）本森良治、岡山哲也、三木 鈴、浜脇弘暉、黒岩俊一郎、乾 泰弘、（福岡県）有高秀一、片瀬 高、延塚 浩、（佐賀県）片瀨陽一、宮川 暁、浜田圭吾、（長崎県）黒氏謙一、鈴木公雄、木寺義郎、加瀬泰昭、久保田健二、（熊本県）末永正義、（大分県）肥田木孜、浦田啓司郎、中原博正、稗田義雄、（鹿児島県）有馬正俊、永井 忍、広瀬 晃、伊集院康熙、四宮大乘、桑波田景一郎、永田行博、（沖縄県）伊是名博之、糸数 健、上村昭栄、高良光雄、永山 孝